

42 「住民参加のまちづくり」

【き】 総合計画を実現するために発足した 「地域づくり生野塾」

平成9年に、住民と役場職員が一緒になって、みんなで作った生野町総合計画をみんなで実現していくため、「地域づくり生野塾」が発足しました。

【概】 播但線の高速電化など活力ある地域づくりに 取り組む

「地域づくり生野塾」は、8つのグループ(ほぼ住民40人、役場職員40人)から構成されています。

そのひとつである「活・楽・未(からみ)」は、住民7名、役場職員4名で構成され、生野町総合計画の中の地域計画にあるJR播但線の高速電化、活力ある地域づくりなどの施策の実現に向けて取り組んでいます。

【成】 地域の人々に播但線の重要性を再認識してもらいました

1期2年の活動も4期目を迎えましたが、生野駅舎を利用した映画会、クリスマス音楽会、生野のかつて繁栄した様子を伝えるビデオ上映会などを通じて、地域の人々に生野駅、ひいては播但線の重要性が、だんだんと認識されてきたように思います。

直接私たちの活動に参画・協働できなくても、町民みんなでふれあえるイベントなどに参加していただくことで、地域みんなの取り組みになっています。

【夢】 未来と歴史をみつめて

私たちの一番大きな課題である播但線の完全電化をめざしています。それとともに、生野銀山のかつての繁栄を記録に残し、後世に伝えていきたいと思っています。



駅舎を花で飾る

地域づくり生野塾グループ 活・楽・未

代表者氏名:海崎陽一
活動地域:生野町口銀谷地区
事務所等:朝来市生野町口銀谷791-1
朝来市生野支所地域振興課内
電話番号:079-679-2240
ホームページ:
<http://www.kansai.ne.jp/ikunohp/ikunojyuku/ikunojyuku.htm>

活用した支援

アドバイザー派遣(生野町)



住民が行政に参画し、行政が住民に参画するしくみを

私たちは単なるボランティア団体ではなく、行政職員と住民が対等の立場でまちづくりに取り組む、という新しいスタイルをとっています。住民が行政に参画するだけでなく、行政が住民に参画し、住民と行政が対等の立場で参画・協働しながらまちづくりに取り組んでいるのです。

住民は町長から「町づくり委員」の委嘱を受け、役場職員も「地域担当職員」という辞令を受けています。



できることからやろう「行動しながら考える」

総合計画の実現という目的がありましたが、目標が大きすぎてどこから手をつけていいかわからず、当初はなかなか活動が前に進みませんでした。

2期目からソフト面に活動を切り替え、クリスマス会や駅舎を利用した映画の上映会など、やれることからまずやろうというスタイルにしたことで、活動が楽しくなり、活発になりました。

それ以来、「考えてから行動するのではなく、行動しながら考える」をモットーに活動しています。動いてこそ楽しくなるし、楽しくなければ長続きしない、と言えるでしょう。

「失敗すれば、その時点でまた考えよう」くらいの気持ちで取り組んでいます。



生野駅クリスマスコンサート



大盛況の銀谷祭り